

様式例 2（事業の概要が分かる資料）

（「養殖」を選択した場合）

（１）扱っているチョウザメ類又はヘラチョウザメ類の種、年齢、性別、個体数、出所、原産国等の分かる資料

※１ 申請時点の情報を基に、以下の表を作成すること。なお、可能な限り行を分けて作成すること。

※２ 既存の資料で同等又はそれ以上の情報が分かる資料がある場合、当該資料の提出のみでよい。（本表を作成する必要はない。）

種	年齢	性別	個体数	出所	原産国	備考

（２）養殖管理体制に関する説明資料

※３ 以下の（ｉ）から（iii）までについて、説明を記載すること。なお、別添として資料をつけることも可とする。また、必要に応じて（iv）に関しても記載すること。

（ｉ）種苗の入手方法

（ii）種について把握する方法

（iii）個体数について把握する方法

（iv）その他養殖管理体制に関する説明

（３）年間計画等生産規模の分かる資料

※４ 申請時点の情報を基に、以下の表を作成すること。なお、出荷先（予定）に関しては、出荷する可能性のある加工工場は全て記載すること。

※５ 既存の資料で同等又はそれ以上の情報が分かる資料がある場合、当該資料の提出のみでよい。（本表を作成する必要はない。）

平成〇〇年度（平成〇〇年〇月～〇〇年〇月）年間計画

種	未受精卵の 生産予定数量(kg)	出荷先 (予定)	備考 (出荷の時期等)

(「加工」又は「再包装」を選択した場合)

(1) 扱っているチョウザメ類又はヘラチョウザメ類の種、出所、原産国、仕入先等の分かる資料

- ※1 申請時点の情報を基に、種ごとに以下の表を作成すること。
- ※2 既存の資料で同等又はそれ以上の情報が分かる資料がある場合、当該資料の提出のみでよい(本表を作成する必要はない。)

種	出所	原産国	仕入先	備考

(2) 年間計画等生産規模の分かる資料

- ※3 申請時点の情報を基に、以下の表を作成すること。なお、出荷先(予定)については、最低限、国内流通であるのか輸出であるのかを明確にすること。
- ※4 既存の資料で同等又はそれ以上の情報が分かる資料がある場合、当該資料の提出のみでよい(本表を作成する必要はない。)

平成〇〇年度(平成〇〇年〇月～〇〇年〇月) 年間計画

種(※)	キャビアの 生産予定数量(kg)	出荷先 (予定)	備考

※ プレストキャビアを除き、2種以上のキャビアを混ぜて一次容器に詰めることはない。